

市役所本庁舎等の建設内容

平成29年2月8日

1 コンセプト

市民を守る「あんしん」施設

自然環境に「やさしい」施設



2 場所

秩父市熊木町521番1外（伝承館含む敷地面積約1.7ha）

3 本体工事工期 平成26年12月25日から平成29年2月28日

4 本体工事請負者 大成・高橋特定建設工事共同企業体

5 舞台工事請負者 森平舞台機構株式会社

6 構造等 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建

延床面積 9,926m²

検討の経緯

～市民のご意見を取り入れた計画～

①市議会における検討

市役所本庁舎及び市民会館建替え調査特別委員会
平成22年12月～平成26年12月 ⇒ 全員協議会

②市民会議による検討（市報に掲載）

秩父市役所本庁舎等建設市民会議
平成23年7月27日～11月8日まで8回開催

③市民ワークショップによる検討

秩父市役所本庁舎及び市民会館建設市民ワークショップ
平成24年11月～平成25年5月まで5回開催

④市役所内部における検討

総合政策会議（三役）	33回開催
推進本部会議（本部長＝市長）	28回開催
担当課長会議（第1～第5グループ）	126回開催

※市長と語る会、商工会議所からの要望、地元町会での署名活動（東町511人・熊木町736人）など

（H27年3月現在）

配置計画

配置の考え方 動線計画



秩父市役所本庁舎

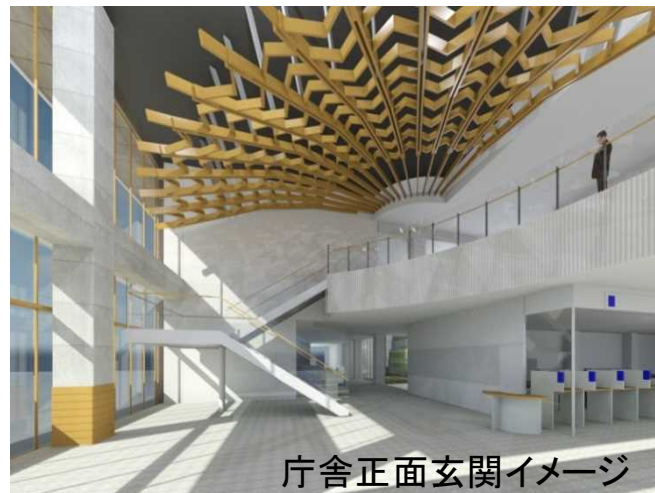
■ 市民目線に立って安心して頼れる市役所

- ① 市民を守る防災拠点
- ② 利用しやすく、親しみやすい庁舎
- ③ 市民に開かれた議会部門
- ④ 木材を活用し、秩父らしさを感じられる庁舎

- ・ 高度な耐震性能
（消防本部庁舎と同じ震度6強でも機能維持）
- ・ 緊急時は避難所に（市民会館）
- ・ 電気、水道が止まっても
一定期間は機能確保



議場イメージ



庁舎正面玄関イメージ

○コンパクトな庁舎

- ・震災前 旧庁舎 約5,600m² + 歴文館庁舎部分 約3,000m² 合計 約8,600m²
 - ・新庁舎 約4,800m² + 歴文館庁舎部分 約3,000m² 合計 約7,800m²
- 以前より 約800m²の面積減

※職員数による庁舎必要面積（国土交通省基準）は約10,800m²となり、約3000m²も小規模

○歴史文化伝承館機能回復

現在、本庁舎として使用している、歴史文化伝承館の公民館部分は、緊急避難的なもので正しい状態ではありません。新庁舎を建設することで、この異常な状態が解消され、本来あるべき活発な公民館活動が行える市民のための歴史文化伝承館に戻ります。

秩父宮記念市民会館

■ 地域文化の殿堂としての秩父宮記念市民会館

① 郷土の誇りとなる芸術文化創造拠点



- ・1007席の観やすい客席
- ・優れたホール音響
- ・秩父の木に包まれた内装
- ・郷土の芸術文化拠点
(屋台囃子、歌舞伎、神楽、獅子舞、人形芝居、オペラ、演劇、コンサート、民謡、舞踊、バレエ、ほか)

② 開館準備事業(プレイベント)の開始

- ・ 秩父宮記念市民会館管理運営計画の策定
- ・ 市民参画によるプレイベントの実施

○市役所本庁舎と市民会館の面積は、

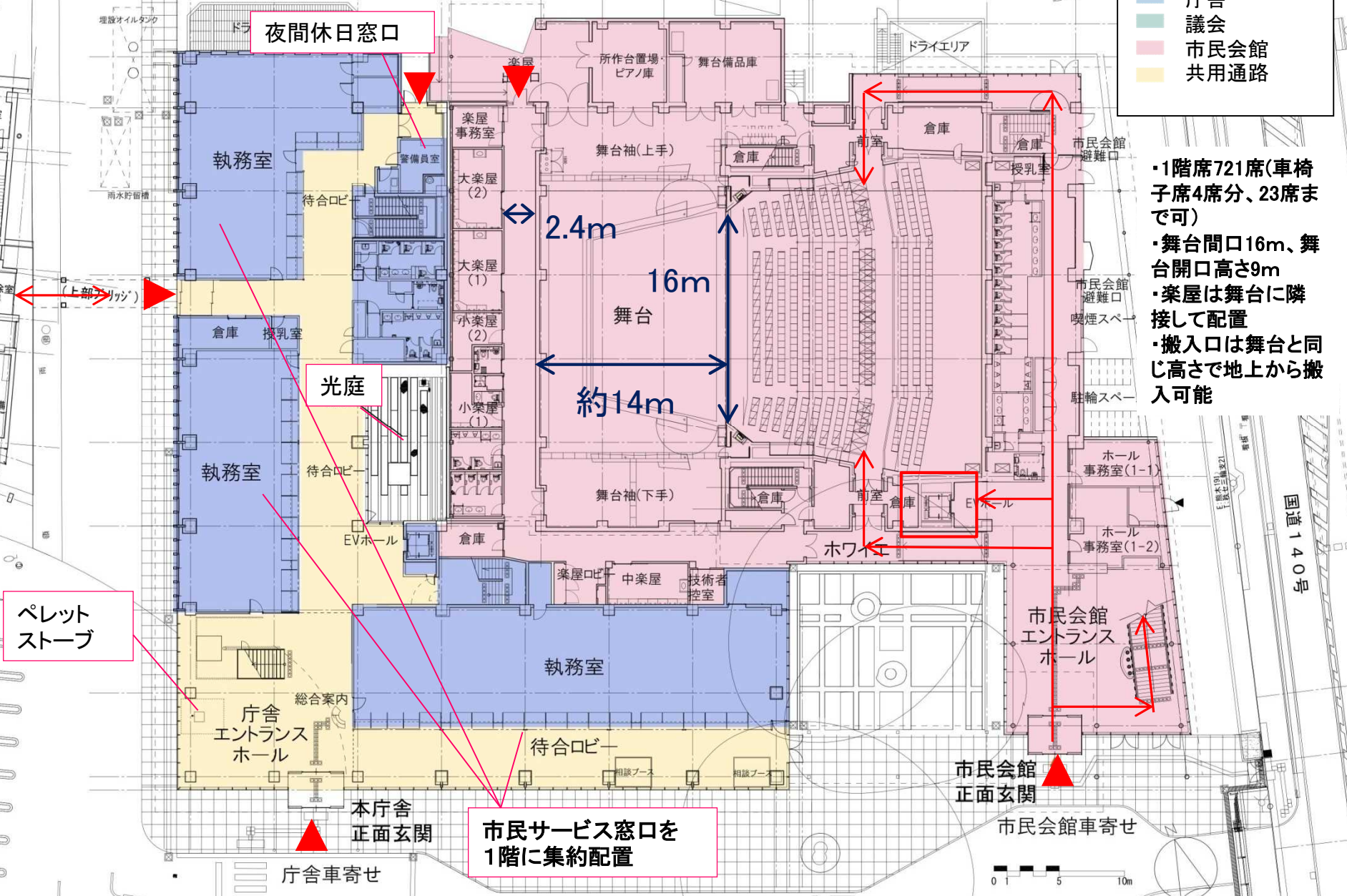
	旧施設 (本庁舎 + 市民会館)	➔	新しい施設 (合築)
延床面積	11,223.3m ² (5626 + 5596)		9,926.75m ² (4810 + 5116)

※庁舎はコンパクトに市民会館機能は充実させる。

平面計画・内装について

1階平面図(執務室+大ホール)

■	庁舎
■	議会
■	市民会館
■	共用通路



- ・1階席721席(車椅子席4席分、23席まで可)
- ・舞台間口16m、舞台開口高さ9m
- ・楽屋は舞台に隣接して配置
- ・搬入口は舞台と同じ高さで地上から搬入可能

市民サービス窓口を1階に集約配置

ペレットストーブ

光庭

夜間休日窓口

市民会館正面玄関
市民会館車寄せ

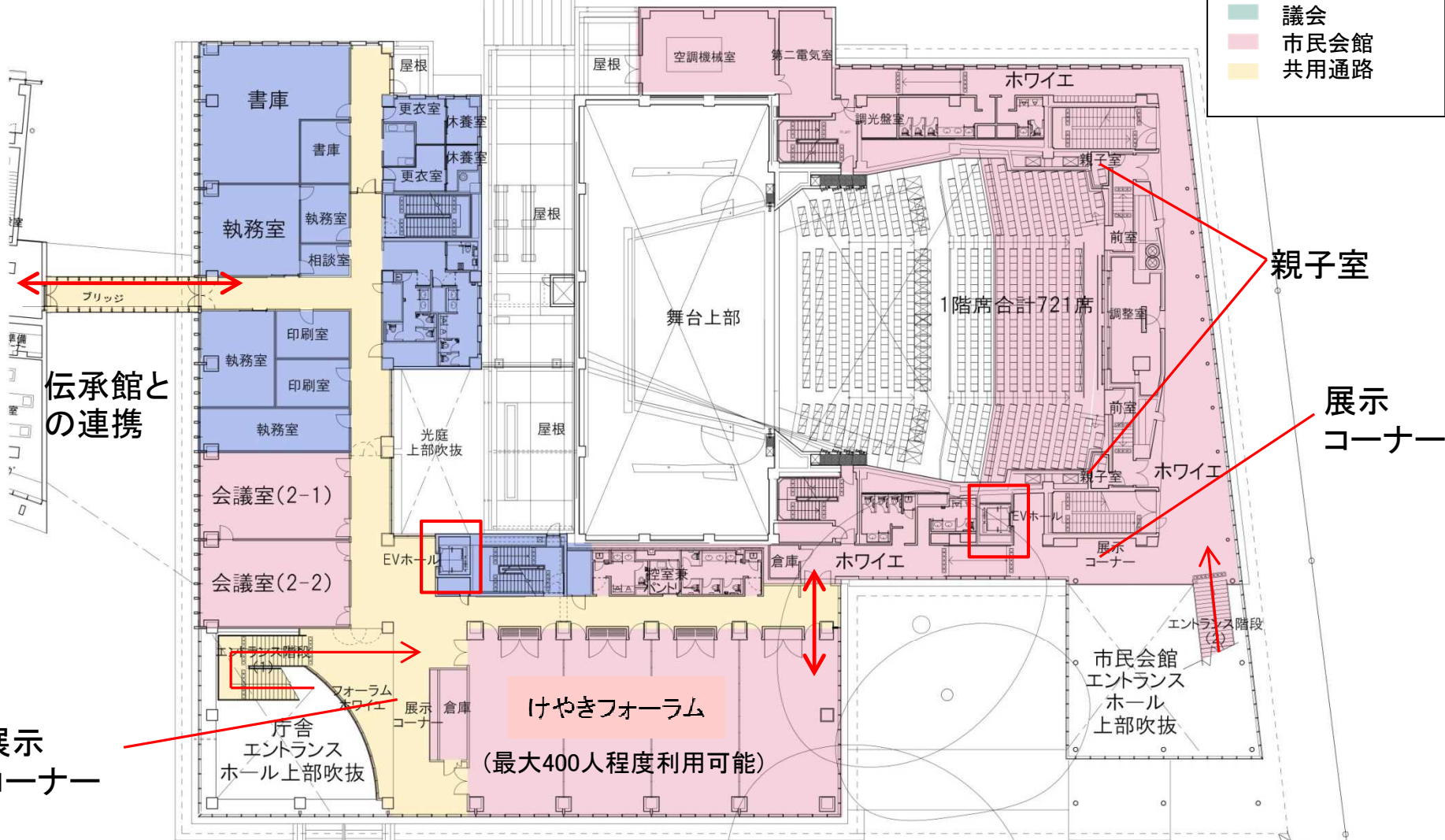
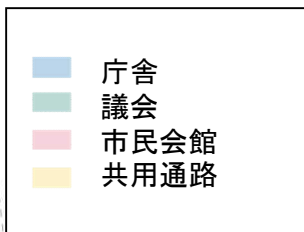
本庁舎正面玄関
庁舎車寄せ

0 1 5 10m

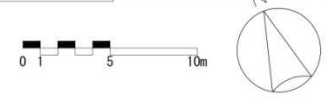
国道140号

平面計画・内装について

2階平面図(執務室+市民利用会議室)



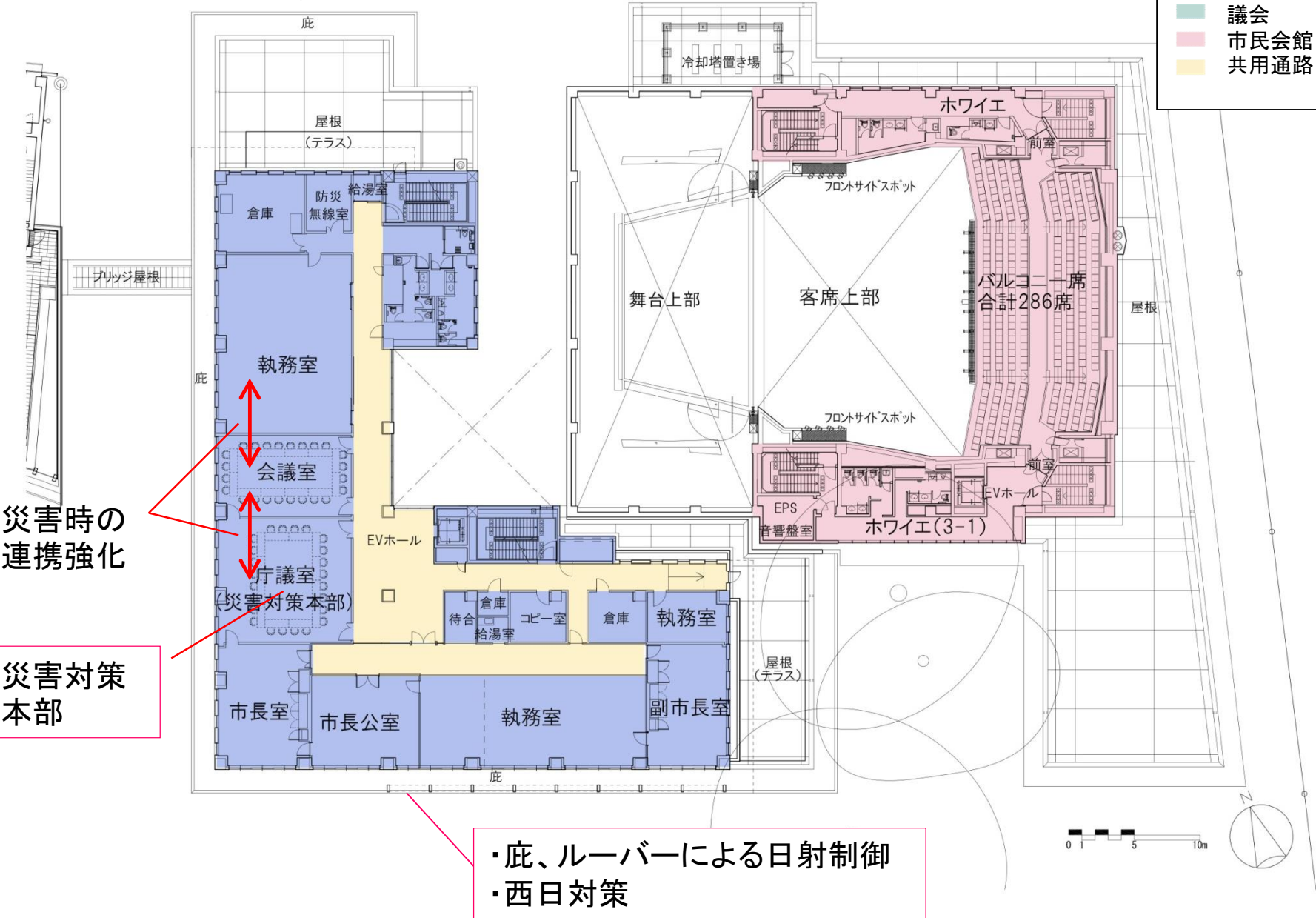
- ・市民利用の会議室をアクセスしやすい2階に計画
- ・伝承館、ホールと2階で繋がっており、室内で行き来が可能
- ・展示コーナー



平面計画・内装について

3階平面図(市長室、執務室)

■	庁舎
■	議会
■	市民会館
■	共用通路



災害時の連携強化

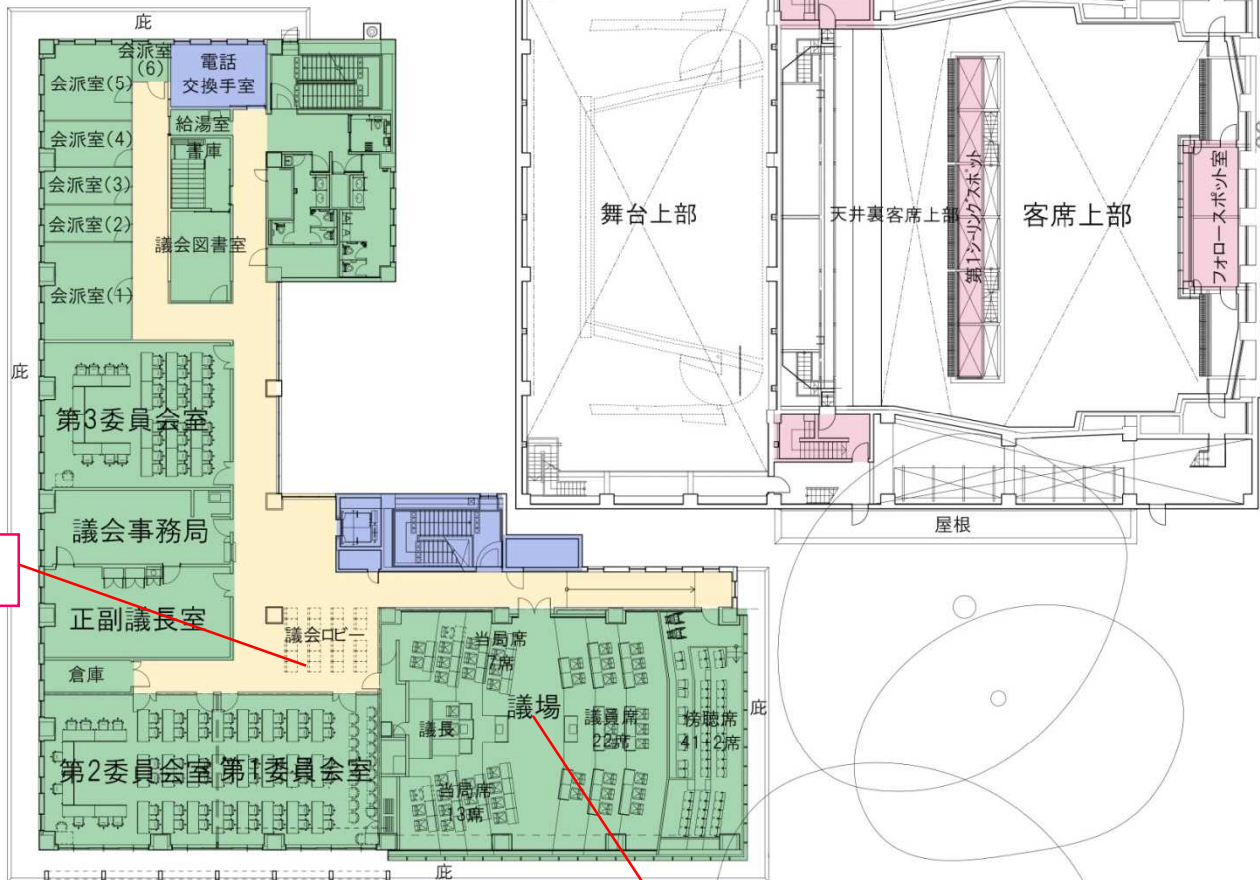
災害対策本部

・庇、ルーバーによる日射制御
・西日対策

平面計画・内装について

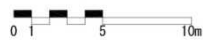
4階平面図(議会)

- 庁舎
- 議会
- 市民会館
- 共用通路



議会ロビー

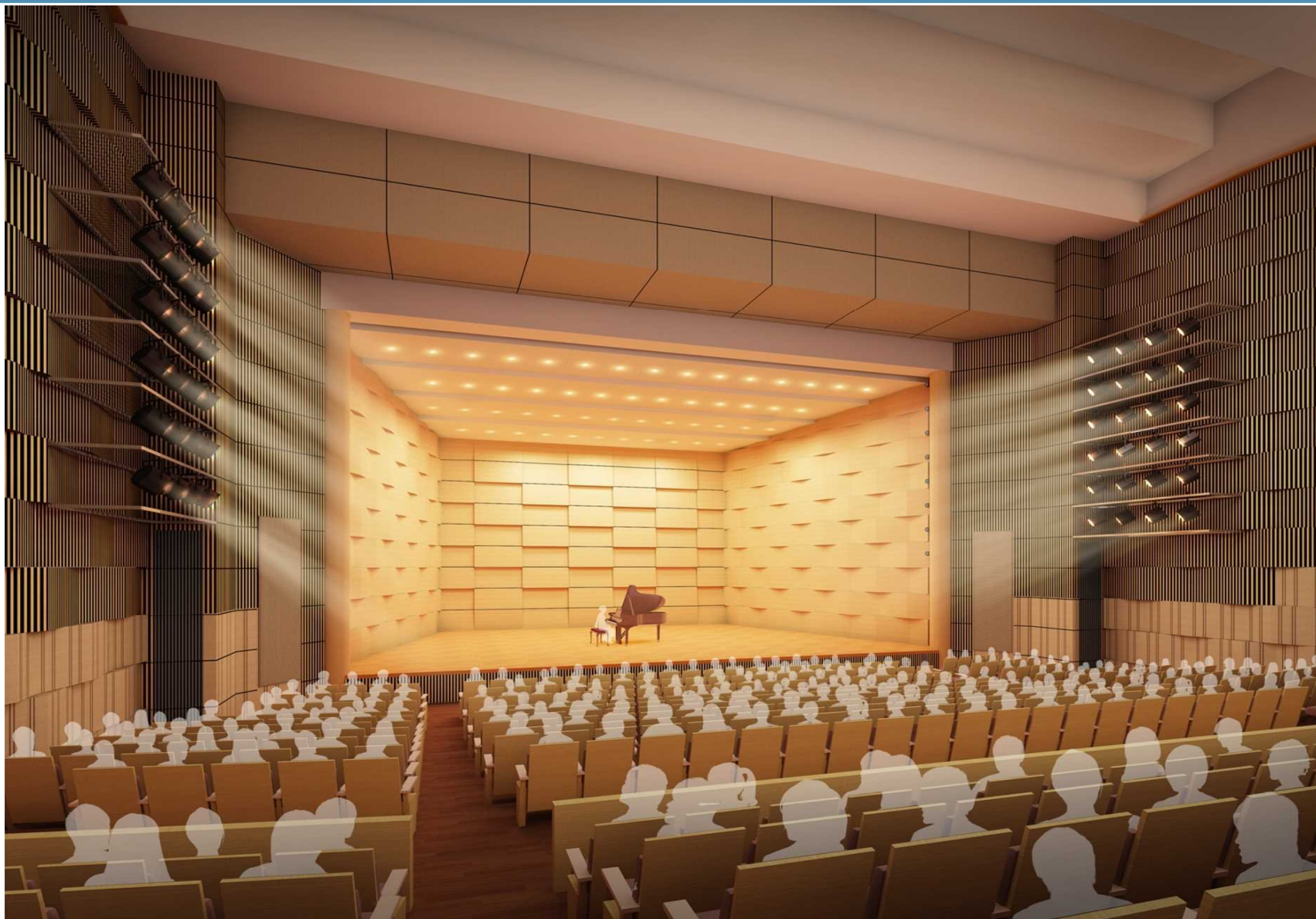
議場





- ・花火、秩父銘仙柄をデザインに取り入れた明るいエントランスホールを計画しています。
- ・4本の柱と秩父の花火をイメージした天井は、国道側からのアイストップとなります。

イメージ



- ・秩父の「木」に包まれた温かみのある内装
- ・「響くホール」適切な残響時間となるように計画

イメージ



- ・既存の緞帳を仕立て直し、再利用する計画
- ・懐かしい旧市民会館ホールが思い出される

イメージ

平面計画・内装について

けやきフォーラム内観

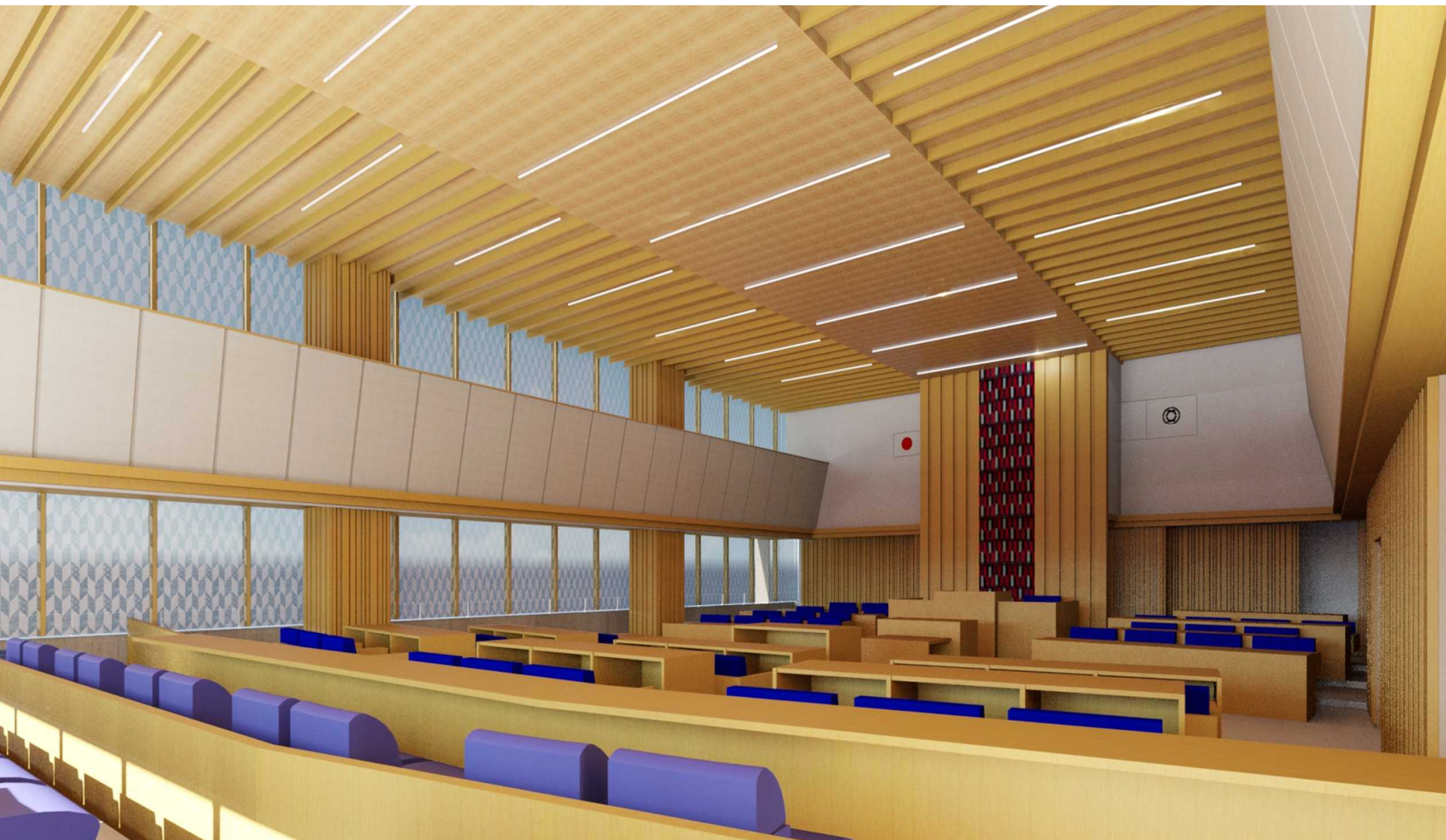


イメージ

- ・武甲山、大ヶヤキに面して、窓を大きく取り、明るく開放感がある。
- ・木複合カーテンウォールや木の内装

平面計画・内装について

議場内観イメージ



・秩父産木材を活用

イメージ

秩父産木材の積極的活用

新庁舎・市民会館用の木材に生まれ変わる市営林の木々

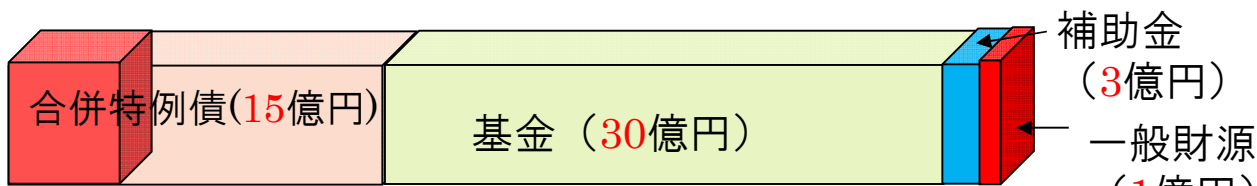


「木材伐採見学会」 歴史的な瞬間に市民ら50名が立ち会う

- ・平成25年11月26日、「秩父市役所等建設用木材伐採見学会」を開催
- ・大滝の栃本市有林にて、明治時代に植林した100年生の大木を伐採
- ・第37回全国育樹祭の記念行事として実施

財源についての概要(基本構想時H24.5からの推移)

基本構想約49億円
(平成24年5月)
(ただし、防災・環境設備等を除く)



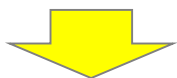
合併特例債15億円の場合

国からの補助=合併特例債交付金10.5億円+補助金3億円=13.5億円

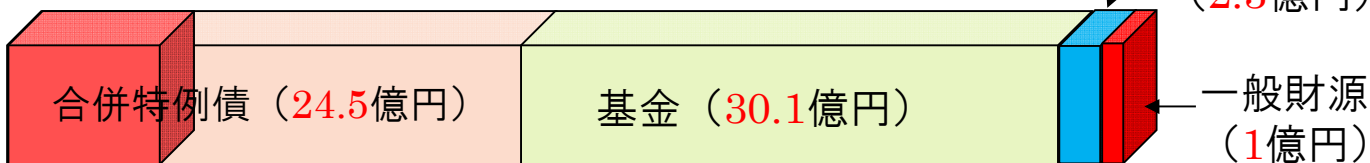
自己負担額=償還額4.5億円+基金30億円+一般財源1億円=35.5億円

補助金3億円:住宅・建築物安全ストック形成事業(面積11,000㎡)

$11,000\text{㎡} \times 80,000\text{円} \times 1/3 \div 293,330,000 \Rightarrow 3\text{億円}$



実施設計約58億円
(平成26年2月)



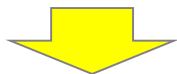
合併特例債24.5億円の場合

国からの補助=合併特例債交付金17.15億円+補助金2.3億円=19.45億円

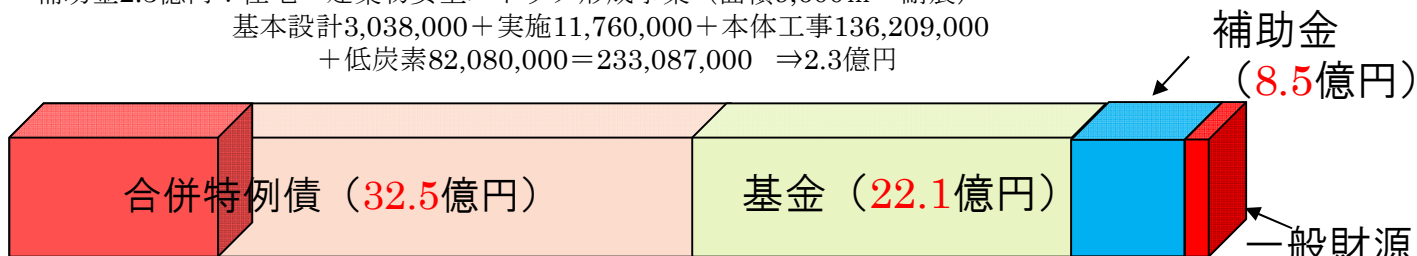
自己負担額=償還額7.35億円+基金30.1億円+一般財源1億円=38.45億円

補助金2.3億円:住宅・建築物安全ストック形成事業(面積9,600㎡・耐震)

基本設計3,038,000+実施11,760,000+本体工事136,209,000
+低炭素82,080,000=233,087,000 $\Rightarrow 2.3\text{億円}$



実勢価格約65億円
(平成26年8月)



合併特例債32.5億円の場合

国からの補助=合併特例債交付金22.75億円+補助金8.5億円=31.25億円

自己負担額=償還額9.75億円+基金22.1億円+一般財源1.9億円=33.75億円

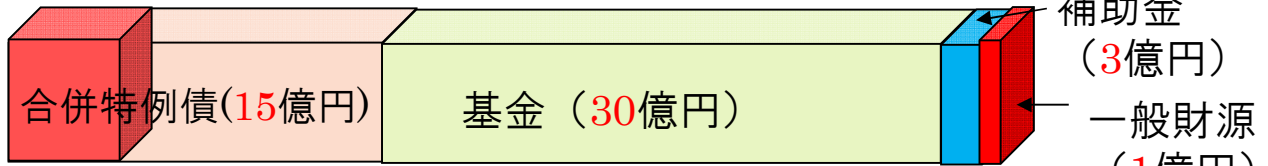
補助金8.5億円:住宅・建築物安全ストック形成事業(設計のみ)

基本設計3,038,000+実施11,760,000

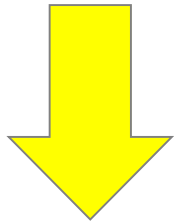
+都市再生整備事業840,000,000=854,798,000 $\Rightarrow 8.5\text{億円}$

財源についての概要 (H24.5からH28.9の市負担額推移)

基本構想約49億円
(平成24年5月)
(ただし、防災・環境設備等を除く)



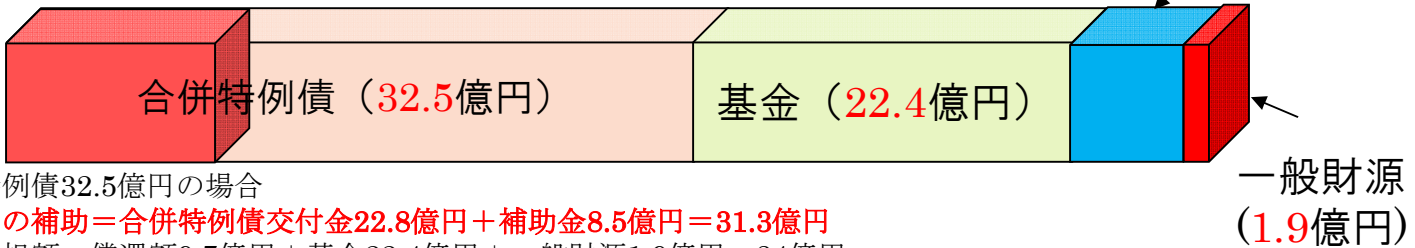
合併特例債15億円の場合
 国からの補助=合併特例債交付金10.5億円+補助金3億円=13.5億円
 自己負担額=償還額4.5億円+基金30億円+一般財源1億円=35.5億円
 補助金3億円: 住宅・建築物安全ストック形成事業 (面積11,000㎡)
 $11,000\text{㎡} \times 80,000\text{円} \times 1/3 \div 293,330,000 \Rightarrow 3\text{億円}$



市民負担額 + = **5.5億円**

将来自己負担額=償還額4.5億円+一般財源1億円=5.5億円

最終契約価格約65億3千万円
(平成28年9月)



合併特例債32.5億円の場合
 国からの補助=合併特例債交付金22.8億円+補助金8.5億円=31.3億円
 自己負担額=償還額9.7億円+基金22.4億円+一般財源1.9億円=34億円
 補助金8.5億円: 住宅・建築物安全ストック形成事業 (設計のみ)
 基本設計3,038,000+実施11,760,000
 +都市再生整備事業840,000,000=854,798,000 $\Rightarrow 8.5\text{億円}$

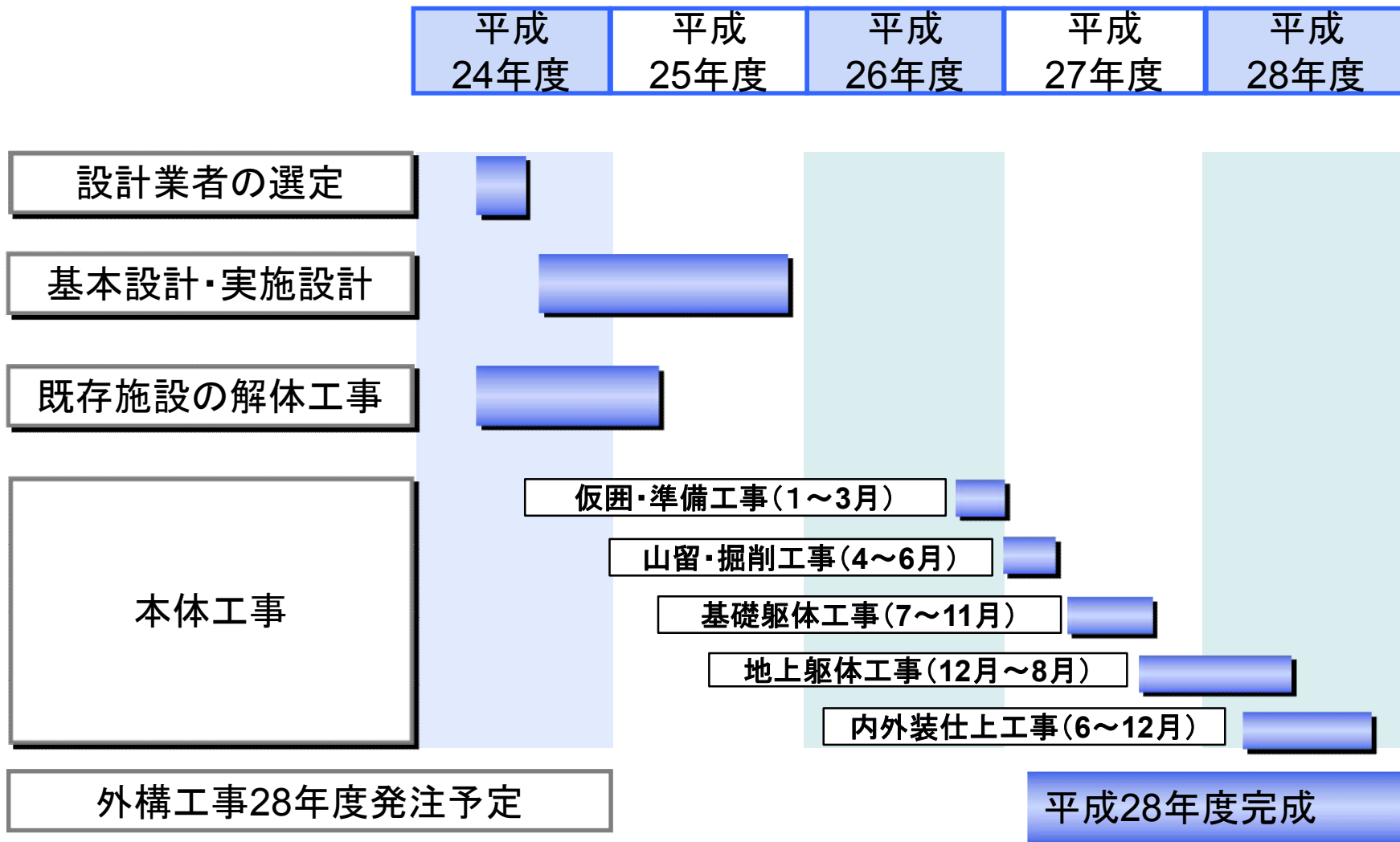
市民負担額 + - = **4億円**

基金30-22.4=7.6億円

将来自己負担額=償還額9.7億円+一般財源1.9億円-基金の差7.6億円=4億円

1.5億円 市民負担を減額した計画

スケジュール



建設による産業活性化

■ 新庁舎及び市民会館建設事業 経済効果

埼玉県の指標による建設投資の経済波及効果分析の試算(埼玉県産業連関表より)

平成26年度工事 約 3億5千万円
平成27年度工事 約13億6千万円
平成28年度工事 約44億6千万円
合計 約61億7千万円

国内経済効果
約2.80倍

約170億円

県内経済効果
約1.54倍

約95億円

■ 中心市街地の活性化

- ・西武鉄道(株): (仮称)西武秩父仲見世通り
西武レク(株) 複合型温泉計画 事業
- ・埼玉 県: 本町・中町街路整備事業
- ・秩父 市: 市道幹線51号線道路改築事業
市役所本庁舎等建設事業

防災拠点、文化の殿堂として、市民の皆様に親しまれ、愛される施設となるよう努めます。



秩父市イメージキャラクター

ポテくまくん